

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.21

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	伊丹(6)施設最適化総合設計 T005隊舎新築工事	階数	地上5F
建設地	兵庫県伊丹市(建物は川西市内)	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域・法22条区域	平均居住人員	219 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年9月 予定	評価の実施日	2025年10月10日
敷地面積	215,016 m <sup>2</sup>	作成者	久保岳
建築面積	1,305 m <sup>2</sup>	確認日	2025年10月10日
延床面積	6,292 m <sup>2</sup>	確認者	久保岳



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p><b>BEE = 1.2</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>94%</td> </tr> </table> <p>このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	94%	③上記+②以外の	94%	④上記+	94%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	94%									
③上記+②以外の	94%									
④上記+	94%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.4</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.7</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.3</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.6</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>自衛隊施設の隊舎(寄宿舎)として、シンプルで明解な平面計画、必要最低限の階高とし、華美な装飾の無い質実剛健な建築物とすることで、建設による環境負荷を極力抑えている。年間の一次エネルギー消費量を20%以上削減し、屋上緑化・や太陽光設備の設置により、環境配慮を行っている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>全方向に開口部を設け、各居室にも一カ所以上窓を設置</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>各居室は開閉可能な窓を設置 室用途に適した照明計画を行う。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>立地条件を踏まえ、周辺との調和を意識した外観を計画</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>建物全体の断熱化を行い、エネルギー消費の削減を行う。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水機器や躯体以外でのリサイクル材を使用した計画</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>敷地内で適切な隣棟間隔を確保し、通風や採光など周辺への配慮をした計画</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される